

電 力 情 報

NO. 86

平成22年2月25日

東 北 電 力 (株)

原町太陽光発電所の開発計画について

～ 第3のメガソーラー開発地点を決定～

当社は、地球環境問題への対応を重要な経営課題のひとつとして位置付け、低炭素社会の実現に向けた取組みを進めております。その一環として、当社管内の複数の地点において、2020年度までに合計10,000kW程度のメガソーラー発電所を開発する計画を進めております。

これまで八戸、仙台の両火力発電所構内において、計3,500kWを建設することとし、平成24年度中の運転開始に向けた準備を開始しております。(平成21年2月26日お知らせ済み)

このたび、第3の開発地点に原町火力発電所構内を選定し、「ハラマチタイヨウコウ原町太陽光発電所」として1,000kW級のメガソーラー発電設備の建設を計画しました。今後、地元自治体や関係機関と協議・調整を図りながら、八戸、仙台に原町を加えた3地点でのメガソーラー発電所建設の実現に向け、より具体的な検討・準備を進めてまいります。

原町太陽光発電所の概要

名 称	原町太陽光発電所
所 在 地	福島県南相馬市
出 力	約1,000kW
発電電力量	約105万kWh/年 一般家庭約300世帯分の年間使用電力量に相当
工 期	着 工：平成23年度(目途) 運転開始：平成25年度(目途)
効果(推定)	年間約500トンのCO2削減

設備利用率を12%と仮定して試算。

イメージ図



原町太陽光発電所